

平成 21 年度新農薬実用化試験で注目された 病害虫防除薬剤

(社)日本植物防疫協会調査企画部 はやし なおと ぬまた きょうた 林 直人・沼田 京太

はじめに

平成 21 年度の新農薬実用化試験については、10 月 22 日の茶試験成績検討会を皮切りに、稲・野菜関係地域成績検討会、果樹等試験成績検討会、生物農薬試験成績検討会等順次開催され、依頼された薬剤の各種病害虫に対する効果や薬害、使用方法の検討が行われた。

ここでは、平成 21 年度に依頼された試験の中で、注目された薬剤並びにその傾向について紹介する。

I 新農薬実用化試験の動向

〔殺菌剤〕

本年度依頼された試験薬剤は 275 剤であった（生物農薬を含む）。これら薬剤についてそれぞれ複数の作物、病害に対して延べ 1,894 件の試験が実施された。成分が新規化合物単剤もしくは新規化合物同士の混合剤である製剤は 24 剤（8.7%）、新規化合物と既知化合物の混合剤は 14 剤（5.1%）であり、昨年より少なかった（図-1）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係では、昨年に比べ薬剤数、試験件数ともに減少し、416 件が実施された。稲ではいもち病の試験が最も多く、白葉枯病、ごま葉枯病菌による穂枯れの試験も多かった。依頼の中心はイソチアニル、チアジニル、プロベナゾールを成分とする抵抗性誘導を起こす育苗箱施用剤で、これらの成分と殺虫成分の混合製剤が多く試験された。種子消毒の試験や粉剤、水和剤等の本田散布剤の試験は減少した。

野菜関係は、昨年に比べ 100 件ほど減少した。病害別ではうどんこ病の試験が最も多く、べと病、疫病、菌核病の依頼も多かった。昨年依頼の多かったいちご炭疽病や各種野菜の灰色かび病の試験は少なかった。新規化合物製剤が少ないことから依頼内容は既登録薬剤の処理濃度の追加や剤型変更に伴う適用拡大などが多く、多岐の病害に試験が行われた。

果樹関係は落葉果樹、寒冷地果樹、常緑果樹ともに昨年よりも件数が減少した。落葉果樹では 50 剤、寒冷地

果樹では 21 剤、常緑果樹は 14 剤について試験が行われた。本年度より落葉果樹ではもも果実赤点病とすすかび病、寒冷地果樹ではブルーベリーのバルデンシア葉枯病と斑点病の試験が開始された。また、常緑果樹ではカンキツかいよう病と灰色かび病の依頼が全体の 2/3 を占めた。

茶の関係では、昨年とほぼ同様の件数でナリア WDG、ヨネポン等の薬剤の適用拡大試験の依頼があった。

芝草の試験数は昨年とほぼ同様に 27 剤、196 件の試験が実施された。昨年と同様に新病害のネクロティックリングスポット病やベントグラスデッドスポット病の試験が行われた。

生物農薬では 18 剤、166 件の試験が実施され、従来から依頼が多かった灰色かび病やうどんこ病のほか、種々の病害に試験が行われた。また、兵庫県立農林水産技術総合センターと株式会社サカタのタネが共同開発した、微生物を生きたまま種子にコーティングし保存する技術（ライブコート）を使った、セル苗元気・ライブコート種子の試験がトマト青枯病で試験されている。

〔殺虫剤〕

本年度依頼された薬剤数は 294 剤で、それぞれ複数の作物・害虫に対して延べ 3,529 件の試験が実施された。新規成分の単剤は 37 剤、新規成分と既知成分の混合剤は 15 剤であった（図-2）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係は、近年で最も依頼が多かった昨年に比較すれば減少したが、やはり多いほうであった。ここ数年で新規の殺菌剤と殺虫剤が開発さ

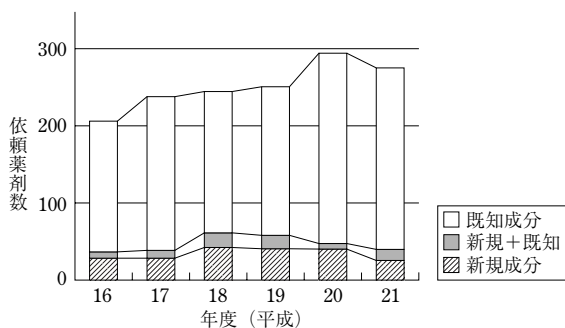


図-1 殺菌剤効果試験依頼薬剤数の推移

The Remarked Pesticides for the Efficacy Study in Japan (2009).
By Naoto HAYASHI and Kyota NUMATA

(キーワード：殺虫剤，殺菌剤，JPPA，新農薬実用化試験，平成 21 年度)

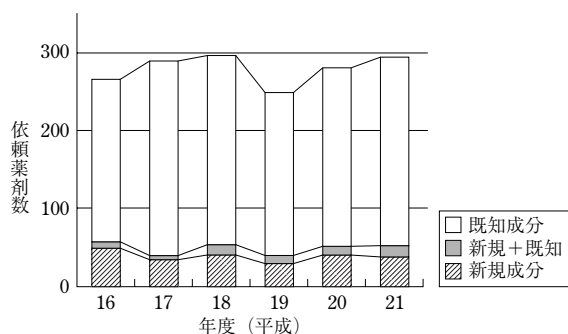


図-2 殺虫剤効果試験依頼薬剤数の推移

れており、それらと従来の薬剤の混合製剤が昨年あたりから活発に開発されたことから多様な害虫に対して依頼があった。製剤の種類としては箱粒剤が全体の7割を超え圧倒的に多かった。

野菜関係は、今年からの新剤は少なかったが、ここ数年で登場した新規化合物が単剤で、また既存剤との混合製剤としての開発が活発であり、多様な作物・害虫への試験が多数行われた。全体としては茎葉散布剤が主体であるが、線虫やネキリムシ類等土壌害虫の試験が多かったのも特徴的である。またここ数年液剤のセルトレイ・ポット灌注、生育期株元灌注等も活発に開発されている。

果樹はいずれの分野も昨年度は試験依頼が少なかったが、今年度はもち直した。落葉果樹分野は近年では最多の試験が実施された。チョウ目害虫対象剤がここ数年多かったが、それに加えダニ・カメムシ目・アザミウマ目に対しても多くの試験が依頼された。寒冷地果樹分野では、各作物・害虫に広く適用拡大の試験が実施された。常緑果樹分野では、ここのところ試験が少なかったミカンハダニに対して、化学農薬・物理剤・天敵等多数の試験が実施され、全体として昨年より3割増の試験が実施された。

茶分野では、被害が拡大しつつあるミカントゲコナジラミの試験が目立った。その他はそれぞれの害虫に対する試験数は多くはないが、クワシロカイガラムシを除き、発生が考えられるほぼすべての対象に広く試験が実施された。

芝分野では、昨年度過去最低の試験数となったが、新剤・既存剤が平行して新たに試験を開始し、各種害虫に満遍なく昨年度の4倍近くの試験が実施された。

生物農薬分野では、生物種としては2種新たに登場し、糸状菌・ウイルス剤も試験依頼がありほぼ昨年度と同様な依頼であった。

表-1 平成21年度に初めて依頼のあった新規化合物(病害防除)

薬剤コード・成分	依頼作物・病害	備考
KUF-2102 食品 100%	稲：苗立枯病(ピシウム菌)、 稲：もみ枯細菌病(種子消毒)、 稲：苗立枯細菌病(種子消毒)、 稲：褐条病(種子消毒)	
S-2200 40SC 新規化合物 40%	だいず：紫斑病、なす：菌核病、 トマト：菌核病、きゅうり：菌核病、 キャベツ：菌核病、レタス：菌核病、 なし：黒星病、なし：うどんこ病、 もも：黒星病、もも：ホモブシ腐敗病、 もも：灰星病、ぶどう：黒とう病、 ぶどう：晩腐病、ぶどう：うどんこ病、 茶：もち病、茶：炭疽病、 茶：輪斑病、茶：新梢枯死症	9作物、16病害が対象
ZF-9646OD 新規化合物 10%	ばれいしょ：疫病、きゅうり：べと病、 はくさい：べと病、レタス：べと病	

II 注目される新規化合物を含む薬剤 および新規生物製剤

〔殺菌剤〕

平成21年度に試験された、試験受託時に未登録の新規化合物を含む薬剤(生物農薬を含む)は38剤で、単剤は24剤、混合剤は14剤であった。このうち、本年度初めて依頼された成分は4剤であった(表-1, 3)。

KUF-2102(クミアイ化学)は稲もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病の種子消毒とピシウム菌による苗立枯病を対象に試験された。S-2200 40SC(住友化学)は、野菜類の菌核病やだいず紫斑病、落葉果樹ではなし黒星病、ぶどう黒とう病、もも灰星病、茶ではもち病等幅広い病害を試験試験対象としている。ZF-9646OD(デュポン)はばれいしょ、はくさい、きゅうり、レタスのべと病に依頼され、いずれも高い効果を示している。生物農薬の分野ではNR-24水和剤(日本曹達)がばれいしょ、はくさいの軟腐病、ももせん孔細菌病等に試験された。

〔殺虫剤〕

平成21年度に試験された、依頼申請時に未登録の新規物を含む薬剤は52剤で、単剤は37剤、混合剤は15剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は7剤であった(表-2, 3)。

本年度初めて依頼のあった薬剤のうち、SB-917(エス・ディー・エス バイオテック)は、夜蛾類に忌避作

表-2 平成 21 年度に初めて依頼のあった新規化合物（害虫防除）

薬剤コード・成分	作物・病害虫	備考
SB-917 sec-ブチルβ-スチリルケトン	果樹類：夜蛾類	忌避物質で、含有デバイスを木に吊り下げる
GG-201WDG 新規原体 25.0%	芝：チョウ目害虫	浸透移行性を有する
KUI-109SC 新規化合物 20%	芝：スジキリヨトウ・シバオサゾウムシ・コガネムシ類	浸透移行性と長い残効性があり薬害の心配がほとんどない

表-3 平成 21 年度に初めて依頼のあった生物農薬

薬剤名	成分	対象作物・病害虫
(病害防除)		
NR-24 水和剤	細菌	ばれいしょ：軟腐病、はくさい：軟腐病、はくさい：黒腐病、きゃべつ：黒腐病、もも：せん孔細菌病、かんきつ：かいよう病
(害虫防除)		
CAS-014	キイカブリダニ (<i>Indoseiulus liturivorus</i>)	なす：アザミウマ類
RS-2	コミドリチビトビカスミカメ (<i>Campylomma chinensis</i>)	なす：アザミウマ類・コナジラミ類
IK-2121 粒剤	新規細菌	さつまいも：コガネムシ類
SB-7331 顆粒水和剤	Bt 生菌	野菜類：チョウ目害虫

用をもつ sec-ブチルβ-スチリルケトンを含む製剤を木に括り付けて施用するタイプで、もも・すももで試験された。GG-201WDG（日本グリーンアンドガーデン）は浸透移行性をもつ新規化合物で、芝のチョウ目害虫に試験実施された。KUI-109SC（クミアイ化学工業）は、浸透移行性と長い残効性があり作物に対する薬害の心配が少ないとする新規化合物で、芝のスジキリヨトウ・コガネムシ類・シバオサゾウムシに試験実施された。

昨年度から試験中の新規化合物の ANM-138 フロアブル（日本化薬・明治製菓）、MAI-08012～08016 粒剤（エス・ディー・エス バイオテック）、ME5343 顆粒水和剤（明治製菓）、XI-0601～0801（デュポン）、NNI-0711 フロアブル（日本農薬）は適用を広げつつ試

験を重ねている。また未登録剤としては、BCI-071 フロアブル（スピロテトラマト：バイエルクロップサイエンス）・ディアナ SC・WDG（スピネトラム：住友化学）・AKD-1162 乳剤（アザジラクチン：アグロ・カネショウ）・SYJ-159 乳剤（アバメクチン：シンジェンタジャパン）・コルト顆粒水和剤（ピリフルキナゾン：日本農薬）・マハラジャ乳剤（アザジラクチン：石原産業・石原バイオサイエンス）等が昨年に引き続き実用性ありの品目を増やしている。

生物農薬では新規の種としてキイカブリダニ（CAS-014：アグリ総研）とコミドリチビトビカスミカメ（RS-2：住友化学）が登場し、野菜類のアザミウマ類などに試験された。また細菌の新製剤として IK-2121 粒剤がコガネムシ類に、SB-7331 顆粒水和剤がチョウ目害虫に試験された。

III その他注目された事項

当協会では、農薬登録に必要な基本的な防除効果薬害試験を実施しているが、資材によっては普及場面での使用方法や体系防除における位置づけをより明確にする必要がある場合や、防除効果や薬害についても使用方法や処理時期等によっては集中的に検討する必要があると考えられる農業資材などに対して、特別連絡試験を行っている。

今年度は殺菌剤関係で 1 課題が組まれたことから以下に一部を紹介する。

イソチアニルの稲いもち病に関する特別連絡試験（バイエルクロップサイエンス株式会社、住友化学株式会社）

イソチアニルは、バイエルクロップサイエンス株式会社と住友化学株式会社が共同開発を行っている抵抗性誘導剤である。新農薬実用化試験では、稲のいもち病、ごま葉枯病菌による穂枯れ、白葉枯病等に試験が行われ、いずれも安定した防除効果が得られており、問題となる薬害もなく現在、登録申請中である。

本連絡試験では、本剤の使用適期幅の広さを活かし、2%粒剤の播種時処理から移植時処理までの育苗箱処理での有効性と普及性を検討した。播種時から移植当日のいずれの処理も高い防除効果を示し、移植作業や移植後の生育に影響を及ぼすような薬害も認められず、本剤の有効性と普及性の高さが確認された。全国 23 試験場が参加し実施された。

IV 最近名称に変更があった薬剤

多くの薬剤は初めて委託に出されるときにはコード番号などを薬剤名として使用しているが、登録に伴って商

表-4 最近名称変更のあった主な薬剤

旧薬剤名	変更後名称	成分名・量
(殺菌剤)		
KUF-1901 水和剤	クリーンカップ	<i>Bacillus subtilis</i> 2.0 × 10 ¹⁰ cfu/g 水酸化第二銅 50.0%
NC-231 顆粒水和剤	ダイナモ顆粒水和剤	アミスルブロム 17.0% シモキサニル 30.0%
NF-162 顆粒水和剤	エキナイン顆粒水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル 10.0% シモキサニル 60.0%
NF-163 顆粒水和剤	ベトファイター顆粒水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル 10.0% シモキサニル 24.0%
(殺虫剤)		
DKI-0001 フロアブル DKI-0002 フロアブル DKI-0004 粒剤	プレバソンフロアブル 5 サムコルフロアブル 10 フェルテラ箱粒剤	クロラントラニリプロール 5%・10%・0.75%
IKI-1145SL	ガードホープ液剤	ホスチアゼート 30%
NI-31 粒剤	モスピランワン粒剤	アセタミプリド 1%
NNI-0750 フロアブル	アクセルキングフロアブル	トルフェンピラド 12% メタフルミゾン 19%
XI-0601 フロアブル	XI-0601OD	新規化合物 10%
KI-78	シバラック MC	BPMC10.0% MEP15.0%
(殺虫・殺菌剤)		
BA-1 粒剤	嵐プリンス箱粒剤 10	フィプロニル 1.0% オリサストロビン 7.0%
BCM-061 粒剤	ルーチンアドマイヤー箱粒剤	イミダクロプリド 2.0% イソチアニル 2.0%
BCM-072 粒剤	ルーチンバリアード箱粒剤	チアクロプリド 1.5% イソチアニル 2.0%
MH-0802 粒剤	ファーストオリゼプリンス粒剤 6	フィプロニル 0.6% プロベナゾール 20.0%
MN-06 粒剤	ブイゲットスタークル粒剤	ジノテフラン 2% チアジニル 12%
S-8079 箱粒剤	スタウトダントツ箱粒剤	クロチアニジン 1.5% イソチアニル 2.0%
S-8079 箱粒剤 L	スタウトダントツ箱粒剤 08	クロチアニジン 0.8% イソチアニル 2.0%
S-8640 箱粒剤	スタウトダントツディアナ箱粒剤	クロチアニジン 0.8% スピネトラム 0.5% イソチアニル 2.0%
KUF-1802 顆粒水和剤	クリーンサポート	<i>Bacillus subtilis</i> 2.0 × 10 ¹⁰ cfu/g ポリオキシン複合体 20%

品名が命名される。また、商品名がつけられる前に何らかの事情で名称変更されることもあり、過去の試験と比較するとき、戸惑うこともある。そこで、最近名称に変

更があった薬剤の一覧表を作成した（表-4）。比較検討時の参考になれば幸甚である。

表-5 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：イネ・ムギ）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	いもち病	DMH-0902 粒剤, DMH-2475 粒剤, HM-0830 粉剤 DL, HM-0932 粉剤 DL, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, HM-0938 粉剤 DL, HOF-0931 粉剤 DL, MMH-0901 粒剤, アーチー MC, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ファーストオリゼ箱粒剤, ファンタジスタ顆粒水和剤, ブイゲットスタークル粒剤, ブイゲットフロアブル, ルーチンバリアード箱粒剤, NNIF-0931 粒剤, NNIF-0932 粒剤, NNIF-0943 粉剤 DL	稲	もみ枯細菌病	HM-0833 粉剤 DL, HM-0835 粉剤 DL, HM-0837 粉剤 DL, MMH-0901 粒剤, アブライプリンス粒剤 6, アブライ箱粒剤, ルーチン粒剤
	紋枯病	BCF-081 粒剤, HM-0932 粉剤 DL, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, HM-0938 粉剤 DL, HOF-0931 粉剤 DL, NNIF-0950 フロアブル, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, NNIF-0942 粉剤 DL, NNIF-0943 粉剤 DL		白葉枯病	MMH-0901 粒剤, NNIF-0751 粒剤, NNIF-0861 粒剤, アブライプリンス粒剤 6, ファーストオリゼプリンス粒剤 10, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ブイゲットスタークル粒剤, ブイゲットバリアード粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチン粒剤, NNIF-0931 粒剤, NNIF-0932 粒剤
	穂枯れ（ごま葉枯病菌）	BCM-082 粉剤 DL, HM-0830 粉剤 DL, HOF-0801 粉剤 DL, HOF-0802 粉剤 DL, HOF-0821 フロアブル, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, ビームキラップジョーカー粉剤 DL, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチン粒剤		内穎褐変病	ブイゲット箱粒剤
	変色米（アルタナリア菌）	イモチエースキラップ粒剤, イモチエーススタークル粒剤		苗立枯病（フザリウム菌）	TKS-1
	変色米（カーブラリア菌）	イモチエースキラップ粒剤		苗立枯病（ビシウム菌）	KUF-2102, TKS-1, ダコニール 1000
	墨黒穂病	イモチエース粒剤, オリブライト 1 キロ粒剤, トップジン M ゾル, 撒粉ボルドー粉剤 DL		褐条病	KUF-2102
小麦				もみ枯細菌病（種子消毒）	KUF-2102
				苗立枯細菌病（種子消毒）	KUF-2102
				いもち病（苗）	ビームゾル
			小麦	赤かび病	ALF-0712 顆粒水和剤, MAF-0801EW
				黒変病	チルト乳剤 25
				紅色雪腐病	ヨネボン, ベフラン液剤 25
				雪腐小粒菌核病	HOF-2071 フロアブル, フロンサイド SC
				褐色雪腐病	ランマンフロアブル
				雪腐大粒菌核病	フロンサイド SC
				うどんこ病	IKF-309SC

平成 21 年度は 91 薬剤 416 試験が実施された。昨年より薬剤数、試験数共に減少した。稲では今年から試験が開始された KUF-2102 が褐条病、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病の種子消毒と苗立枯病（ビシウム菌）に対して十分な試験がされたほか、墨黒穂病に対して 4 薬剤が試験された。また、昨年から試験が開始された IKF-309SC が小麦うどんこ病に対して十分な試験がなされた。

表-6 平成 21 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除: 野菜・花き)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	軟腐病	DKF-0113 ドライフロアブル	なす	灰色かび病	アミスターオブティフロアブル
	疫病	BAF-0701 フロアブル, DKF-0113 ドライフロアブル, エキナイン顆粒水和剤, カスミンボルドー, ダイナモ顆粒水和剤, プリザード水和剤		すすかび病	フォリオゴールドフロアブル
	夏疫病	シルバキュアフロアブル, プリザード水和剤		うどんこ病	IKF-309SC, OK-5203 乳剤 5, ダコニール 1000, NF-170 顆粒水和剤
	そうか病	シードラック水和剤	トマト	青枯病	クロロピクリン錠剤, バスアミド微粒剤
やまのいも	葉渋病	フロンサイド SC		灰色かび病	ALF-0711 顆粒水和剤, クリーンカップ, ダイアメリット DF
	葉かび病			葉かび病	フォリオゴールドフロアブル, ラリー乳剤
だいず	斑点細菌病	HM-0903 粉剤		斑点病	アミスターオブティフロアブル
	リゾクトニア根腐病	SYJ-204FS		うどんこ病	NF-170 顆粒水和剤, アフェクトフロアブル, クリーンカップ, パンチョ顆粒水和剤
	紫斑病	Z ボルドートレボン粉剤 DL, アミスターアクタラ SC			
あずき	褐斑細菌病	HM-0903 粉剤	ピーマン	疫病	SYJ-184 粒剤
	菌核病	シルバキュアフロアブル		灰色かび病	アミスターオブティフロアブル
	茎疫病	ジャストフィットフロアブル		うどんこ病	ホワイトブロック, シグナム WDG
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	HM-0903 粉剤	ししとう	疫病	SYJ-184 粒剤
いんげん	灰色かび病	カンタスドライフロアブル, フロンサイド SC		斑点細菌病	DKF-0113 ドライフロアブル
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	HM-0903 粉剤		べと病	BAF-0701 フロアブル, ダイナモ顆粒水和剤
	炭疽病	フロンサイド SC	きゅうり	灰色かび病	ダイアメリット DF
えんどう	うどんこ病	ハチハチフロアブル		褐斑病	ダイアメリット DF, ダイパワー水和剤, ポリベリン水和剤
とうもろこし	紋枯病	バリダシン液剤 5		うどんこ病	IKF-309SC, KPP-206 水和剤, NF-170 顆粒水和剤
てんさい	葉腐病	シグナム WDG	メロン	菌核病	セイビアーフロアブル 20, シグナム WDG, ベルクートフロアブル
	褐斑病	シグナム WDG		うどんこ病	NF-170 顆粒水和剤, フォリオゴールドフロアブル, ホワイトブロック
	苗立枯病 (アフアノミセス菌)	NC-224ST	すいか	褐色腐敗病	ライメイフロアブル
	根腐病	シグナム WDG, リンバー顆粒水和剤		菌核病	アミスターオブティフロアブル
ホップ	灰色かび病	ハーモメイト水溶剤	かぼちゃ	べと病	プロポーズ顆粒水和剤
	うどんこ病	ハーモメイト水溶剤, アカリタッチ乳剤		疫病	アミスターオブティフロアブル, ランマンフロアブル
こんにゃく	葉枯病	IC ボルドー 48Q・水和剤, NT-8008・水和剤		うどんこ病	ホワイトブロック
	乾腐病	トップジン M 粉剤 DL		うどんこ病	ホワイトブロック
	白絹病	SYJ-184 粒剤	にがうり	うどんこ病	ホワイトブロック

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
だいこん	亀裂褐変症（リゾクトニア菌）	フロンスайд SC	たまねぎ	べと病	BAF-0506 フロアブル, BAF-0701 フロアブル, プリザード水和剤, ALF-0711 顆粒水和剤
	白さび病	SYJ-184 粒剤		灰色腐敗病	フロンスайд SC, ALF-0711 顆粒水和剤
かぶ	軟腐病	ヨネボン水和剤		灰色かび病（白斑葉枯病）	ダイパワー水和剤, HOF-2071 フロアブル, シグナム WDG
	白さび病	ライメイフロアブル		乾腐病	フロンスайд SC
はくさい	べと病	ALF-0711 顆粒水和剤, BAF-0506 フロアブル, BAF-0701 フロアブル, シグナム WDG		黒腐菌核病	フロンスайд粉剤
	白斑病	ALF-0711 顆粒水和剤, シグナム WDG	にんにく	白色疫病	リドミルゴールド MZ 顆粒水和剤, レーバスフロアブル
	黒斑病	ALF-0711 顆粒水和剤		春腐病	DKF-0113 ドライフロアブル
	根こぶ病	ネビリュウ粉粒剤	アスパラガス	葉枯病	トリフミン水和剤
	ビシウム腐敗病	フォリオゴールドフロアブル		疫病	ダコニール 1000, プロポーズ顆粒水和剤
	尻腐病	ネビモン粉剤	レタス	斑点病	DKF-0113 ドライフロアブル, ファンタジスタ顆粒水和剤, フロンスайд SC
キャベツ	根こぶ病	ネビリュウ微粒剤		褐斑病	ファンタジスタ顆粒水和剤, ベンコゼブ水和剤
カリフラワー	黒腐病	ヨネボン水和剤		茎枯病	NT-8008 水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤
	べと病	ライメイフロアブル		斑点細菌病	DKF-0113 ドライフロアブル
	根こぶ病	オラクル顆粒水和剤		べと病	プレビクール N 液剤, プロポーズ顆粒水和剤
ブロッコリー	黒腐病	DKF-0113 ドライフロアブル		すそ枯病	KPP-204 顆粒水和剤
	べと病	アミスター 20 フロアブル, フォリオゴールドフロアブル, プロポーズ顆粒水和剤, ホライズンドライフロアブル	にんじん	黒葉枯病	DKF-0113 ドライフロアブル
みずな	根こぶ病	オラクル粉剤		苗立枯病（リゾクトニア菌）	モンカットフロアブル 40
いちご	灰色かび病	S-2188 50DF	ほうれんそう	べと病	DKF-0113 ドライフロアブル, SYJ-184 粒剤
	炭疽病	ビオネクト, ベンコゼブ水和剤, リナセル顆粒水和剤		根茎腐敗病	オラクル顆粒水和剤, パスアミド微粒剤, ランマンフロアブル
	うどんこ病	IKF-309SC, NF-170 顆粒水和剤, OK-5203 乳剤 5, シグナム WDG, マハラジャ乳剤, 園芸ボルドー	きく	白さび病	兼商ステンレス
ねぎ	べと病	リドミルゴールド MZ 顆粒水和剤	ばら	うどんこ病	クリーンサポート, ハッパ乳剤
	葉枯病	ベルクート水和剤	ガーベラ	疫病	オラクル顆粒水和剤
	さび病	ベルクート水和剤	スターチス	灰色かび病	チオノックフロアブル
	小菌核腐敗病	アミスターオブティフロアブル	セントポーリア	疫病	オラクル顆粒水和剤
たまねぎ	軟腐病	IC ボルドー 66D 水和剤			
	軟腐病	カスミンバリダシン液剤			

平成 21 年度依頼された薬剤数は 124 剤、試験数は前年より少ない 799 件であった。県からの要望がある地域の特産品に対して、試験場のご協力の下に積極的に試験が実施された例も見られた。BAF-0506 フロアブルは新規化合物のアメトクトラジン、また BAF-0701 フロアブルはアメトクトラジンとジメトモルフの混合剤である。

表-7 平成 21 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除: 果樹・茶・芝)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	赤星病	オンリーワンフロアブル	おうとう	褐色せん孔病 (収穫後)	オキシンドー水和剤 80
	疫病	ランマンフロアブル		炭疽病	ビスダイセン水和剤
	黒星病	ダイパワー水和剤	ブルーベリー	バルデンシア葉枯病	ベンレート水和剤
	輪紋病	ベンレート水和剤		斑点病	ベンレート水和剤
	うどんこ病	IKF-309SC, ダイパワー水和剤	かんきつ	褐色腐敗病	DKF-0113 ドライフロアブル
もも	せん孔細菌病	DKF-0113 ドライフロアブル	びわ	がんしゅ病	DKF-0113 ドライフロアブル
	黒星病	ドーシャスフロアブル, フリントフロアブル 25	茶	赤焼病	DKF-0113 ドライフロアブル, バクテサイド水和剤, フジドーフロアブル
すもも	灰星病	ファンタジスタ顆粒水和剤		網もち病	DKF-0113 ドライフロアブル
あんず	灰星病	ファンタジスタ顆粒水和剤		褐色円星病	DKF-0113 ドライフロアブル
うめ	環紋葉枯病	ナリア WDG		新梢枯死症	DKF-0113 ドライフロアブル
	黒星病	ベンコゼブフロアブル		炭疽病	MAF-0801SC, NNF-0920 フロアブル
	すす斑病	ナリア WDG, ファンタジスタ顆粒水和剤	芝	かさ枯病	DAF-0703 水和剤
ぶどう	べと病	BAF-0701 フロアブル, KUF-2101 水和剤, ダイパワー水和剤		ダラススポット病	ロブラールフロアブル
	灰色かび病	ボトキラー水和剤, ALF-0712 顆粒水和剤		フェアリーリング病	ポリオキシシン Z ドライフロアブル
	褐斑病	オンリーワンフロアブル		カープラリア葉枯病	芝美人フロアブル, シバンバ EX フロアブル
	黒とう病 (休眠期)	パスポート顆粒水和剤, フリントフロアブル 25		葉腐病 (ブラウンパッチ)	KPP-205 水和剤
	晩腐病 (休眠期)	パスポート顆粒水和剤, フリントフロアブル 25		葉腐病 (ラージパッチ)	MAF-0803 フロアブル, イカルガ 35SC
	さび病	DKF-0113 ドライフロアブル, ベンコゼブ水和剤		かさ枯病	DKF-091WDG
かき	落葉病	フリントフロアブル 25		紅色雪腐病	SYJ-214WP
	炭疽病	フリントフロアブル 25, ALF-0712 顆粒水和剤		雪腐小粒菌核病	ガイア顆粒水和剤, トップバスター顆粒水和剤
	うどんこ病	フリントフロアブル 25		ネクロティックリングスポット病	ガイア顆粒水和剤
いちじく	疫病	DKF-0113 ドライフロアブル, KUF-2101 水和剤, フォリオゴールドフロアブル		ビシウム病	ランマン P フロアブル
りんご	黒星病	ALF-0712 顆粒水和剤		赤焼病	ランマン P フロアブル
	輪紋病	ALF-0712 顆粒水和剤		炭疽病	ベンコシャイン水和剤, KPP-205 水和剤
	すす点病・すす斑病	ベンレート水和剤, アフェットフロアブル		立枯病 (ゾイシアデクライン)	芝美人フロアブル
おうとう	褐色せん孔病	アリエッティ C 水和剤			

平成 21 年度に依頼された試験は落葉果樹 51 薬剤 225 試験, 寒冷地果樹 21 薬剤 67 試験, 常緑果樹で 14 薬剤 36 試験であった。茶の分野では 8 薬剤 40 試験, 芝草の分野では 27 薬剤 159 試験であった。果樹分野の試験数はいずれも昨年より減少し, 茶, 芝は昨年と同様の件数であった。

表-8 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
稲	苗立枯病（リゾープス菌）	KNB-L422 フロアブル	糸状菌
	苗立枯病（トリコデルマ菌）	タフブロック	タラロマイセス フラバス
	もみ枯細菌病（種子消毒）	タフブロック	タラロマイセス フラバス
	苗立枯細菌病（種子消毒）	タフブロック	タラロマイセス フラバス
	いもち病（種子消毒）	エコホープ DJ	トリコデルマ アトロビリデ
なす	すすかび病	タフパール	タラロマイセス フラバス
トマト	すすかび病	タフパール	タラロマイセス フラバス
いちご	うどんこ病	KPP-105-C 水和剤	<i>Paenibacillus polymyxa</i> BS-0105 芽胞
		インプレッション水和剤	バチルス ズブチリス QST713 株
にら	白斑葉枯病	ボトピカ水和剤	バチルス ズブチリス MBI600 の生芽胞
ばら	うどんこ病	タフパール	タラロマイセス フラバス
食用ゆり	葉枯病	NR-20 水和剤	バチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞
ガーベラ	うどんこ病	NR-20 水和剤	バチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞
ペチュニア	うどんこ病	NR-20 水和剤	バチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞

平成 21 年度は 5 薬剤の依頼があり 21 試験が実施された。昨年より薬剤数、試験数共に減少した。KIF-21AL は脂肪酸グリセリドが有効成分である。

表-9 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：家庭園芸）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なす	うどんこ病	NR-25 スプレー	ガーベラ	うどんこ病	KIF-21AL, アタックワン AL 液剤
トマト	うどんこ病	NR-25 スプレー			
きゅうり	うどんこ病	NR-25 スプレー	ペチュニア	うどんこ病	NR-25 スプレー, アタックワン AL 液剤
きく	褐斑病	NR-25 スプレー			
ばら	黒星病	ダブルプレー AL	ベゴニア	うどんこ病	KIF-21AL
	うどんこ病	KIF-21AL	樹木類	うどんこ病	ダブルプレー AL

平成 21 年度は 18 薬剤について 115 試験が実施された。試験薬剤数は昨年より増加したが、試験数は減少した。

表-10 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (殺虫剤: イネ・ムギ)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	ウンカ類	BCM-093 粒剤, HM-0932 粉剤 DL, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, MMH-0901 粒剤, MN-08 粒剤, NNIF-0931 粒剤, NNIF-0932 粒剤, NNIF-0942 粉剤 DL, NNIF-0943 粉剤 DL, NNIF-0950 フロアブル, アドマイヤー CR 箱粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, アブロードスタークルゾル, スタウトダントツディアナ箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤 08, ツインターボフェルテラ箱粒剤, ノンプラスダントツフロアブル, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, ブラシダントツフロアブル, ブラシンバリダダントツフロアブル, 嵐スタークル箱粒剤	稲	ニカメイチュウ	DMH-2475 粒剤, NNIF-0931 粒剤, NNIF-0932 粒剤, SYJ-220 箱粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, スタウトダントツディアナ箱粒剤, デジタルメガフレア箱粒剤, フェルテラ箱粒剤
				コブノメイガ	BCM-093 粒剤, HM-0805 粉剤 DL, HM-0826 フロアブル, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, NNIF-0931 粒剤, SYJ-220 箱粒剤, XI-0603 箱粒剤, スタウトダントツディアナ箱粒剤
				イネツトムシ	KYS-7002 粉剤 DL, スタウトダントツディアナ箱粒剤
				フタオビコヤガ	DMH-2475 粒剤, キラップジョーカーフロアブル, スタウトダントツディアナ箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤, ツインターボフェルテラ箱粒剤, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, フェルテラ箱粒剤
				イネドロオイムシ	BAC-0801 粒剤, BCM-093 粒剤, DMH-2475 粒剤, MMH-0901 粒剤, NNIF-0931 粒剤, NNIF-0932 粒剤, SYJ-220 箱粒剤, アドマイヤー CR 箱粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, スタウトダントツディアナ箱粒剤, ダントツフロアブル, ツインターボフェルテラ箱粒剤, ビルダープリンスチェス粒剤, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ブイゲットスタークル粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, フェルテラ箱粒剤
ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	グランドオリゼメートオンコル粒剤	イネミズゾウムシ		BCM-093 粒剤, DMH-2475 粒剤, MMH-0901 粒剤, NNIF-0931 粒剤, SYJ-220 箱粒剤, アドマイヤー CR 箱粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, スタウトダントツディアナ箱粒剤, ビルダープリンスチェス粒剤, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ブイゲットスタークル粒剤, フェルテラ箱粒剤, ルーチンバリアーダ箱粒剤, 嵐スタークル箱粒剤
		BCM-093 粒剤, HM-0807 粉剤 DL, HM-0822 フロアブル, HM-0853 フロアブル, HM-0854 フロアブル, HM-0932 粉剤 DL, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, MMH-0901 粒剤, NNIF-0731 粒剤, NNIF-0931 粒剤, NNIF-0932 粒剤, NNIF-0942 粉剤 DL, NNIF-0943 粉剤 DL, NNIF-0950 フロアブル, アドマイヤー CR 箱粒剤, アブロードスタークルゾル, スタウトダントツディアナ箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, ブラシダントツフロアブル, ブラシンバリダダントツフロアブル, ルーチンバリアーダ箱粒剤, ワンリード箱粒剤 08			
	カメムシ類	HM-0830 粉剤 DL, HM-0837 粉剤 DL, HM-0851 粉剤 DL, HM-0932 粉剤 DL, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, HM-0938 粉剤 DL, KUI-307 豆つぶ, NNIF-0942 粉剤 DL, NNIF-0943 粉剤 DL, ノンプラスバリダダントツ H 粉剤 DL, ブラシダントツフロアブル, ブラシンバリダダントツフロアブル, モスピラン水溶剤		イネヒメハモグリバエ	アドマイヤー CR 箱粒剤, ビルダープリンスグレータム粒剤
	イナゴ類	BCM-082 粉剤 DL, ブラシダントツフロアブル, ブラシンバリダダントツフロアブル			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	イネシンガレセンチュウ	嵐プリンス箱粒剤 10	小麦	アブラムシ類	BASF ベイオフ ME 液剤, ウララ DF
稲 (湛水直播)	イネミズゾウムシ	アドマイヤー水和剤			

平成 21 年度は稲・麦用に 83 剤, のべ 776 件の試験が受託された。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は XI-0603 粒剤 (新規化合物: デュボン) であった。全体としては箱粒剤の混合製剤が 7 割以上を占めた。対象としては各種害虫に分散する傾向であった。

表-11 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (殺虫剤: 野菜・花き)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	アブラムシ類	コルト顆粒水和剤	とうもろこし	アワノメイガ	ゲットアウト WDG, コテツフロアブル, ジェイエース水溶剤
	ハスモンヨトウ	ブレオフロアブル, マッチ乳剤		オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤
かんしょ	ナカジロシタバ	MA-001SC	そば	ハスモンヨトウ	サブリナフロアブル, フェニックス顆粒水和剤
	ハスモンヨトウ	ファルコンフロアブル, ブレオフロアブル		アブラムシ類 (西部萎黄病)	ダントツ水溶剤
	コガネムシ類	ダントツ粒剤	てんさい	ネキリムシ類	ガードベイト A
さといも	アブラムシ類	アドマイヤー顆粒水和剤		カメノコハムシ	コテツフロアブル
	ハスモンヨトウ	ブレオフロアブル	さとうきび	メイチュウ類	プリンスベイト剤
やまのいも	アブラムシ類	アドマイヤー 1 粒剤		ハリガネムシ類	プリンスベイト剤
	ハスモンヨトウ	ブレバソンフロアブル 5	なす	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, SYJ-210 フロアブル, モスピランワン粒剤
だいず	アブラムシ類	サイアノックス粉剤		アザミウマ類	ANM-138 フロアブル, ウララ DF
	カメムシ類	Z ボルドートレボン粉剤 DL		ハモグリバエ類	SYJ-210 フロアブル
	ウコンノメイガ	スミチオン乳剤		ハダニ類	クリーンサポート, NI-34 くん煙剤
	ハスモンヨトウ	フェニックスフロアブル		チャノホコリダニ	RM1963K 乳剤
	フタスジヒメハムシ	ダントツフロアブル, ダントツ粒剤	トマト	ワタアブラムシ	オンコル粒剤 5
あずき	アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤, ウララ DF		コナジラミ類	BCI-071 フロアブル, MTI-446 粒剤 1, RM1963K 乳剤, エコビタ液剤, ディアナ SC
	アズキノメイガ	カスケード乳剤, ゲットアウト WDG		トマトサビダニ	BCI-071 フロアブル, RM1963K 乳剤, サンクリスタル乳剤
	ヨトウムシ	フェニックス顆粒水和剤	ピーマン	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, ダントツ粒剤
いんげん	ネキリムシ類	ガードベイト A		コナジラミ類	ハチハチ乳剤
	ハスモンヨトウ	ブレバソンフロアブル 5			
	ハモグリバエ類	ブレバソンフロアブル 5			
えんどう	ハモグリバエ類	ブレオフロアブル, AKD-1162 乳剤			
とうもろこし	ムギクビレアブラムシ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ピーマン	ネキリムシ類	ガードベイト A	かぶ	ヨトウムシ	コテツフロアブル, スカウトフロアブル
	ハスモンヨトウ	アフームエクセラ顆粒水和剤		ハスモンヨトウ	プレオフロアブル
	ハダニ類	スターマイトフロアブル		カブラハバチ	モスピラン水溶剤
	チャノホコリダニ	スターマイトフロアブル		ナモグリバエ	コテツフロアブル
きゅうり	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, ME5343 顆粒水和剤	はくさい	アブラムシ類	MTI-6701 顆粒水和剤
	コナジラミ類	BCI-071 フロアブル		コナガ	DKI-1033 粒剤
	アザミウマ類	ディアナ SC		ハイマダラノメイガ	プレバソンフロアブル 5
	ハモグリバエ類	MA-001SC, ディアナ SC		アオムシ	MTI-6701 顆粒水和剤
	ハダニ類	クリーンサポート, スターマイトフロアブル, ポリオキシン AL 水溶剤		カブラヤガ	NNI-0745 粒剤
メロン	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, NI-34 くん煙剤	キャベツ	ヨトウムシ	BCI-062 フロアブル, アクセルフロアブル
	タバココナジラミ類	SYJ-159 乳剤		ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル 5
	コナジラミ類	ディアナ SC		オオタバコガ	アフームエクセラ顆粒水和剤
	アザミウマ類	ディアナ SC		キスジノミハムシ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
	ウリノメイガ	フェニックス顆粒水和剤		アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤, ヨネボン水和剤
	ハモグリバエ類	プレバソンフロアブル 5		コオロギ類	ラービンベイト 2
	ハダニ類	NI-34 くん煙剤, シーマージェット, ニッソラン水和剤		コナガ	DKI-1033 粒剤, プレバソンフロアブル 5, モスピラン SL 液剤
すいか	アブラムシ類	ウララ DF	カリフラワー	ハイマダラノメイガ	BCI-062 フロアブル, アクセルフロアブル
ズッキーニ	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, アクタラ粒剤 5, チェス顆粒水和剤		アオムシ	DKI-1033 粒剤, アクセルフロアブル, モスピラン SL 液剤
だいこん	コナガ	ファルコンエースフロアブル		カブラヤガ	NNI-0745 粒剤
	ハイマダラノメイガ	トルネードエース DF		タマナギンウワバ	スカウトフロアブル, ファルコンエースフロアブル
	アオムシ	ファルコンエースフロアブル		ウワバ類	ディアナ SC
	カブラヤガ	NNI-0745 粒剤		ヨトウムシ	アクセルフロアブル, ラービンベイト 2
	ヨトウムシ	スカウトフロアブル, プレバソンフロアブル 5		ハスモンヨトウ	BCI-062 フロアブル, NNI-0745 粒剤, マハラジャ乳剤
	カブラハバチ	ハチハチ乳剤		オオタバコガ	ディアナ SC, プレバソンフロアブル 5
	ナモグリバエ	アクセルキングフロアブル			
	ハモグリバエ類	バダン SG 水溶剤			
かぶ	ハイマダラノメイガ	フェニックス顆粒水和剤	カリフラワー	コナガ	プレオフロアブル, プレバソンフロアブル 5, モスピラン水溶剤
	ネキリムシ類	ガードベイト A			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
カリフラワー	アオムシ	ブレバソンフロアブル 5, モスピラン水溶剤	ねぎ	ネギハモグリバエ	マハラジャ乳剤, アドマイ ヤー 1 粒剤, アドマイヤー フロアブル
	ヨトウムシ	フェニックス顆粒水和剤, プレオフロアブル		ネコブセンチュウ	IKI-1145 粒剤 1.5
	ハスモンヨトウ	プレオフロアブル, プレバ ソンフロアブル 5	にんにく	ネギコガ	ハチハチ乳剤
ブロッコリー	アブラムシ類	モスピラン SL 液剤, モス ピランワン粒剤	アスパラガス	コナジラミ類	コルト顆粒水和剤
	ネギアザミウマ	SYJ-210 フロアブル		アザミウマ類	プレオフロアブル
	コナガ	アクセルフロアブル		ヨトウムシ	フェニックス顆粒水和剤
	カブラヤガ	NNI-0745 粒剤	レタス	ナメクジ類	ランネット 45DF
	ヨトウムシ	スカウトフロアブル		カブラヤガ	NNI-0745 粒剤
	ハスモンヨトウ	コテツフロアブル, セルオ ーフロアブル, プレバソン フロアブル 5		ウワバ類	アクセルキングフロアブル
チンゲンサイ	コナガ	アクセルフロアブル		ヨトウムシ	モスピラン粒剤
	アオムシ	アディオン乳剤		ハスモンヨトウ	カウンター乳剤
こまつな	コナガ	アクセルフロアブル, プレ オフロアブル	ごぼう	オオタバコガ	BCI-062 フロアブル
	アオムシ	アディオン乳剤		ナモグリバエ	BCI-062 フロアブル
	ヨトウムシ	スカウトフロアブル	しゅんぎく	アブラムシ類	アドマイヤー 1 粒剤
のざわな	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 5		ネキリムシ類	フォース粒剤
みずな	アブラムシ類	ダントツ粒剤	にんじん	ハスモンヨトウ	コテツフロアブル
	アオムシ	アディオン乳剤		アブラムシ類	ゲットアウト WDG
	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 5		ネキリムシ類	フォース粒剤
なばな	コナガ	プレオフロアブル		ヨトウムシ	アグロスリン乳剤
わさびだいこ ん	コナガ	フェニックス顆粒水和剤	パセリ	ハスモンヨトウ	プレオフロアブル
				アブラムシ類	マハラジャ乳剤
いちご	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, モ スピランワン粒剤		ネキリムシ類	フォース粒剤
	ハダニ類	NI-34 くん煙剤		タネバエ	ダイアジノン粒剤 10
	シクラメンホコリダニ	スターマイトフロアブル		ケナガコナダニ	アフーム乳剤
	ナメクジ類	ラービンベイト 2		ホウレンソウケナガコ ナダニ	コテツフロアブル
ねぎ	ネギアザミウマ	ANM-138 フロアブル, サ イハロン乳剤, ベストガー ド粒剤, マブリック水和剤 20	オクラ	アブラムシ類	チェス顆粒水和剤
	カブラヤガ	NNI-0745 粒剤		ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤
	ネキリムシ類	フォース粒剤	しょうが	ハスモンヨトウ	コテツフロアブル, フェニ ックス顆粒水和剤
	シロイチモジヨトウ	ディアナ SC		アブラムシ類	アクセルキングフロアブ ル, ステッド粒剤
			きく	アザミウマ類	オンコルスタークル粒剤, ディアナ SC
				シロイチモジヨトウ	アクセルフロアブル
				ハスモンヨトウ	トルネードエース DF, プ レバソンフロアブル 5

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
きく	オオタバコガ	アクセルフロアブル, トルネードエース DF, ファルコンエースフロアブル, プレバソフフロアブル 5	パンジー	ハスモンヨトウ	ラービンベイト 2
	ハダニ類	NI-34 くん煙剤		オオタバコガ	プレオフロアブル
ばら	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	サルビア	ハスモンヨトウ	ラービンベイト 2
	オオタバコガ	アクセルフロアブル, サイハロン乳剤, プレオフロアブル	ベチュニア	ハスモンヨトウ	ラービンベイト 2
	ナミハダニ	ハッパ乳剤, マハラジャ乳剤	さくら	モンクロシャチホコ	マトリックフロアブル
	ハダニ類	エコピタ液剤		アメリカシロヒトリ	MBCI-081 顆粒水和剤, テルスター水和剤
カーネーション	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	さざんか	コミカンアブラムシ	アディオン乳剤
	オオタバコガ	アクセルフロアブル		チャドクガ	マトリックフロアブル
	ハダニ類	クリーンサポート, NI-34 くん煙剤	さんごじゅ	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
パンジー	アブラムシ類	スカウトフロアブル, ピリカット乳剤	いぬまき	ハゼアブラムシ	アディオン乳剤, サンヨール (乳剤)
				マキシシハアブラムシ	アディオン乳剤
			プラタナス	アメリカシロヒトリ	テルスター水和剤, マトリックフロアブル
			アメリカフウ	アメリカシロヒトリ	テルスター水和剤

平成 21 年度の依頼は 132 剤、のべ 1,837 件の試験が実施された。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は ANM-138 フロアブル (新規化合物: 日本化薬・明治製菓)・ME5343 顆粒水和剤 (新規化合物: 明治製菓) であった。マイナー作物はひとりに比べて減少したが、えんどうの各種害虫、そばのハスモンヨトウ、ズッキーニのアブラムシ類、わさびだいこんのコナガ、にんにくのネギコガ、パセリのアブラムシ類、オクラのアブラムシ類・ハスモンヨトウ、アスパラガスの各種害虫等の試験が進んだ。

表-12 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (殺虫剤: 果樹・茶・芝)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
果樹類	チャノコカクモンハマキ	コンフューザー MM	もも	モモハモグリガ	MA-001SC, フェニックスフロアブル
なし	カメムシ類	バリアード顆粒水和剤	すもも	アブラムシ類	スカウトフロアブル, バリアード顆粒水和剤
	ケムシ類	ファルコンフロアブル		ウメシロカイガラムシ	ラビサンスプレー
	ハマキムシ類	ダーズバン DF, フェニックスフロアブル		シンクイムシ類	バリアード顆粒水和剤
	ナシヒメシンクイ	コンフューザー N	あんず	アブラムシ類	スカウトフロアブル, バリアード顆粒水和剤
	ハダニ類	ポリオキシン AL 水溶剤, アタックオイル	うめ	アブラムシ類	スカウトフロアブル, バリアード顆粒水和剤
もも	アブラムシ類	イカズチ WDG	ぶどう	カイガラムシ類	モスピラン水溶剤
	カイガラムシ類	アブロードエースフロアブル		カメムシ類	テルスターフロアブル
	マルカイガラムシ類	ラビサンスプレー		コナカイガラムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
	ウメシロカイガラムシ	コルト顆粒水和剤		チャノキイロアザミウマ	NK-0503 水和剤, ディアナ WDG
	ハマキムシ類	ファルコンフロアブル, フェニックスフロアブル		ハスモンヨトウ	フェニックスフロアブル
	シンクイムシ類	イカズチ WDG		トビイロトラガ	コテツフロアブル

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ぶどう	コガネムシ類成虫	モスピラン水溶剤, 兼商バ イスロイド EW	かんきつ	ミカンハダニ	スワルスキー, NNI-0711 フロアブル, マハラジャ乳 剤
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル		ミカンサビダニ	カスケード乳剤
りんご	アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤, イカ ズチ WDG, コルト顆粒水 和剤		カタツムリ類	ラービンベイト 2
	ケムシ類	ディアナ WDG	びわ	アブラムシ類	ダントツ水溶剤, モスピラ ン SL 液剤
	ハマキムシ類	サムコルフロアブル 10, フェニックスフロアブル, フェニックス顆粒水和剤		カメムシ類	テルスターフロアブル
	シンクイムシ類	XI-0801SE, フェニッ クスフロアブル	キウイフルー ツ	カメムシ類	テルスターフロアブル
	ギンモンハモグリガ	イカズチ WDG, サムコ ルフロアブル 10, フェニッ クスフロアブル	マンゴー	チャノキイロアザミウ マ	トレボン乳剤
	キンモンホソガ	イカズチ WDG, サムコ ルフロアブル 10, フェニッ クスフロアブル	茶	ミカントゲコナジラミ	サンマイトフロアブル, デ イアナ SC, トモノール S, ヨネボン
	ヨモギエダシャク	ディアナ WDG, カスケ ード乳剤		チャノミドリヒメヨコ バイ	バリュースターフロアブル
	ハダニ類	NNI-0711 フロアブル, サ ンクリスタル乳剤		ツマグロアオカシカ メ	ウララ DF
おうとう	カイガラムシ類	コルト顆粒水和剤, ラビサ ンスプレー		チャノハマキ	ハマキコン-N06
	ケムシ類	サムコルフロアブル 10		チャノホソガ	ANM-138 フロアブル, サ ムコルフロアブル 10, フ ェニックスフロアブル
	ハマキムシ類	フェニックスフロアブル, ディアナ WDG		ヨモギエダシャク	ワークワイド顆粒水和剤
	オウトウショウジョウ バエ	ディアナ WDG		マダラカサハラハムシ	ハチハチ乳剤
	ハダニ類	NNI-0711 フロアブル		カンザワハダニ	NNI-0711 フロアブル, SYJ-159 乳剤, オマイト EW
かんきつ	カイガラムシ類	ラビサンスプレー, MTI- 446 水溶剤 (顆粒)		チャノホコリダニ	バリュースターフロアブル
	コナジラミ類	ダントツ水溶剤		チャノナガサビダニ	バリュースターフロアブル
かんきつ (苗 木)	ミカンハモグリガ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	芝	チガヤシロオカイガラ ムシ	フルスウィング顆粒水和剤
かんきつ	ミカンハモグリガ	フェニックス顆粒水和剤		ケラ	ガゼット粒剤
	アゲハ類	チューンアップ顆粒水和剤		シバツトガ	MBCI-081 顆粒水和剤, シバラック MC, ファルコ ンフロアブル
	ヨモギエダシャク	オリオン水和剤 40, ハチ ハチフロアブル		タマナヤガ	MBCI-071 フロアブル, MBCI-081 顆粒水和剤
	ケムシ類	ダーズバン DF		スジキリヨトウ	MBCI-071 フロアブル, MBCI-081 顆粒水和剤, シバラック MC, ファルコ ンフロアブル
	ケシキスイ類	リーズン顆粒水和剤			
	ミカンバエ	アドマイヤーフロアブル, モスピラン SL 液剤			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
芝	コガネムシ類幼虫	MBCI-071 フロアブル, ビートルコップ顆粒水和剤	芝	シバオサゾウムシ幼虫	ビートルコップ顆粒水和剤

平成 21 年度の落葉果樹分野では 44 薬剤が依頼され、のべ 264 件の試験が受託された。寒冷地果樹分野では 24 剤が依頼、のべ 118 件が受託、常緑果樹分野では 28 薬剤が依頼、のべ 144 件が受託、茶分野では 28 薬剤が依頼、のべ 133 件が受託、芝草分野では 12 剤が依頼、のべ 84 件が受託された。

表-13 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（殺虫剤：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
なす	アブラムシ類	ゴッツ A	ベシロマイセス テヌイベス
トルコギキョウ	ミカンキイロアザミウマ	マイコタール	パーティシリウム レカニ
トマト	コナジラミ類	ボタニガード ES	<i>Beauveria bassiana</i>
食用ぎく	ハスモンヨトウ	ハスモン天敵水和剤	ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス
つるむらさき			
アスパラガス	オオタバコガ	NR-17 液剤	オオタバコガ核多核体病ウイルス
だいこん	カブラヤガ	パイオトピア	スタイナーネマ グラセライ
いちご	ハスモンヨトウ		
いちご	ナミハダニ	ICB-06	ミヤコカブリダニ
野菜類	チャノホコリダニ	スワルスキー	スワルスキーカブリダニ
野菜類	アザミウマ類	CAS-011	ヘヤカブリダニ

平成 21 年度の生物農薬連絡試験では、16 薬剤が依頼され、のべ 71 件の試験が受託された。本年初めて申請に足る試験数が得られた生物種は、CAS-011（ヘアカブリダニ）が挙げられる。

表-14 平成 21 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（殺虫剤：家庭園芸）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なす	アブラムシ類	KIF-21AL	さくら	ケムシ類	GL-42（液剤）
だいこん	アブラムシ類	GL-42（液剤）	つばき類	ツノロウムシ	GL-39（スプレー）、ベニ カグリーン V スプレー
ばら	イバラヒゲナガアブラ ムシ	KIF-21AL	やぶつばき	ツバキワタカイガラム シ	マシン油 A 乳剤 AL
カーネーション	モモアカアブラムシ	アタックワン AL 液剤	さんごじゅ	サンゴジュハムシ	GL-42（液剤）
つつじ類	ツツジグンバイ	GL-39（スプレー）、GL- 42（液剤）	さるすべり	ヒロヘリアオイラガ	サンヨール液剤 AL
	チュウレンジハバチ	TGA-71（エアゾル）、 TGA-72（エアゾル）	ひいらぎもく せい	ヘリグロテントウノミ ハムシ	GL-39（スプレー）
パンジー	モモアカアブラムシ	KIF-21AL	ブルーベリー	ワタアブラムシ	カダンセーフ
			かんきつ	アブラムシ類	GL-42（液剤）

平成 21 年度の家家庭園芸分野では 11 薬剤が依頼され、のべ 102 件の試験が受託された。野菜・花き類対象が多かったが、果樹類・樹木類への試験もあった。